



この写真は大気社の海外拠点があるタイの世界遺産、スコートイ歴史公園です。



株式会社 大気社

2021年3月期(2020年度)

決算説明資料

2021年5月20日



業績ハイライト

1. 2021年3月期の市場環境と業績
2. 2022年3月期業績の見通しと対応

1 2021年3月期の市場環境と業績

市場環境

国内市場

ビル空調分野においては、緊急事態宣言などによる設備投資への影響が見られたが、その後は回復。一方、産業空調分野においては、景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりから、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続いた。

海外市場

産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続いた。

1 2021年3月期の市場環境と業績

連結業績

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
受注工事高	2,020	2,004	-15
完成工事高	2,030	2,025	-4
経常利益	120	122	2
(同率)	5.9%	6.1%	0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	82	2
(同率)	3.9%	4.1%	0.1%

- 受注工事高は、環境システム、塗装システム両事業の海外において、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資の調整局面が続き、全社では期初予想を下回った。
- それ以外の項目では期初予想に対して、ほぼ想定通りの結果となった。

2 2022年3月期業績の見通し

業績予想

単位：億円

	2021.3 実績(a)	2022.3 予想(b)	2022.3 中期経営計画(c)	差異 (b-a)	差異 (b-c)
受注工事高	2,004	2,440	2,650	435	-210
完成工事高	2,025	2,180	2,600	154	-420
経常利益	122	135	160	12	-25
(同率)	6.1%	6.2%	6.2%	0.1%	0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	84	100	1	-16
(同率)	4.1%	3.9%	3.8%	-0.2%	0.1%

- 全社では、全ての項目で増加を見込む。
- 中期経営計画（2019年度～2021年度）の最終年度に当たる2022年3月期の目標達成は困難な見通しであるが、目標数値に近づけるよう引き続き努力を継続していく。



1. 2021年3月期（2020年度）決算説明

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 2021年3月期決算ハイライト | ④ 主な受注工事・完成工事・繰越工事 |
| ② 環境システム事業の業績 | ⑤ 2022年3月期業績予想 |
| ③ 塗装システム事業の業績 | |

2. 中期経営計画（2019年度～21年度）の各戦略における取り組み

3. 株主還元

1. 業績数値等は原則、連結ベースです。個別ベースの場合のみ、各ページのタイトルに（個別）と記載しています。
2. 業績数値等は原則、外部顧客に対する取引金額となっており、セグメント別の営業利益・経常利益についてのみ、内部取引高を含む数値となっております。業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づき推計した見込みです。
3. 経済動向、業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度の改正、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。



1. 2021年3月期（2020年度） 決算説明

1 2021年3月期決算ハイライト

1-①. 事業別受注工事高（前期比）

単位：億円

	2020.3	2021.3	増減
受注工事高	2,269	2,004	-264
（うち国内）	（1,245）	（1,121）	（-124）
（うち海外）	（1,023）	（883）	（-139）
環境システム事業	1,605	1,355	-250
ビル空調	477	459	-18
産業空調	1,127	896	-231
（うち国内）	（632）	（508）	（-124）
（うち海外）	（495）	（388）	（-107）
塗装システム事業	663	649	-14
（うち国内）	（136）	（154）	（18）
（うち海外）	（527）	（495）	（-32）

（環境システム事業）

・ビル空調分野において、第1四半期連結累計期間、緊急事態宣言などによる設備投資への影響が見られたが、その後回復に向かった。

・産業空調分野では、国内は前期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資は調整局面が続いた。

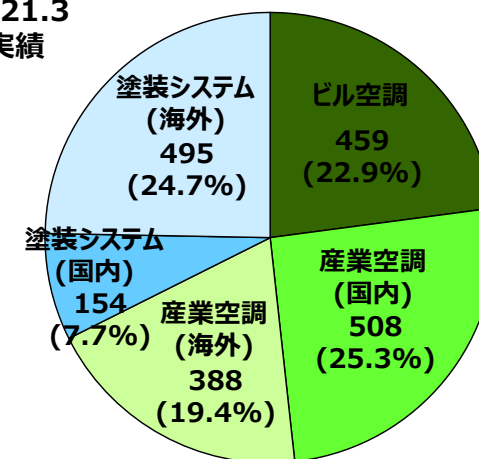
海外でも同じく景気悪化の影響を受け、設備投資は調整局面が続いた。

（塗装システム事業）

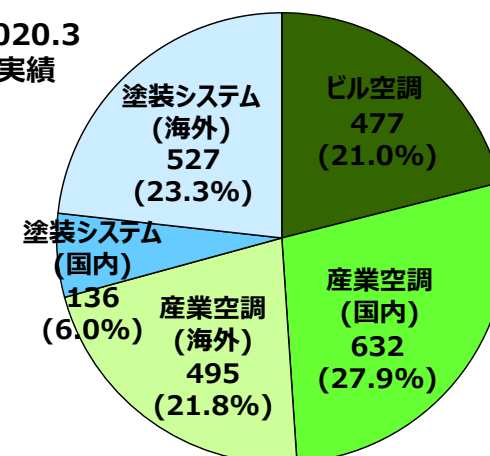
・今期は欧州で非日系顧客からの大型案件の受注があり、また国内では自動車以外の分野で受注活動の成果があったものの、景気悪化の影響による設備投資の調整局面が続いたことから減少した。

事業別構成

2021.3
実績



2020.3
実績



1 2021年3月期決算ハイライト

1-②. 事業別受注工事高（予想比）

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
受注工事高	2,020	2,004	-15
（うち国内）	（1,035）	（1,121）	（86）
（うち海外）	（985）	（883）	（-101）
環境システム事業	1,300	1,355	55
ビル空調	355	459	104
産業空調	945	896	-48
（うち国内）	（558）	（508）	（-49）
（うち海外）	（387）	（388）	（1）
塗装システム事業	720	649	-70
（うち国内）	（122）	（154）	（32）
（うち海外）	（598）	（495）	（-102）

（環境システム事業）

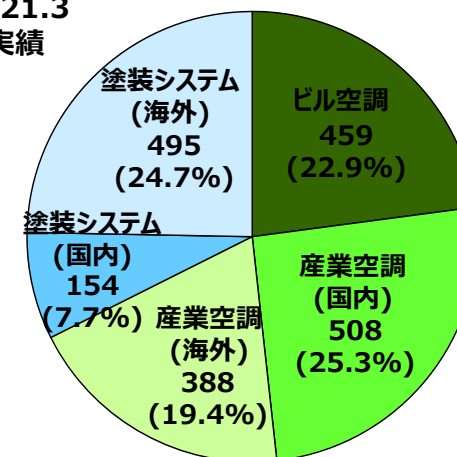
- ・ビル空調分野は、首都圏を中心した大規模再開発やデータセンター需要を確実に取り入れたことなどにより、予想を上回った。
- ・産業空調の国内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、投資計画が先送りとなったことなどにより、予想を下回った。

（塗装システム事業）

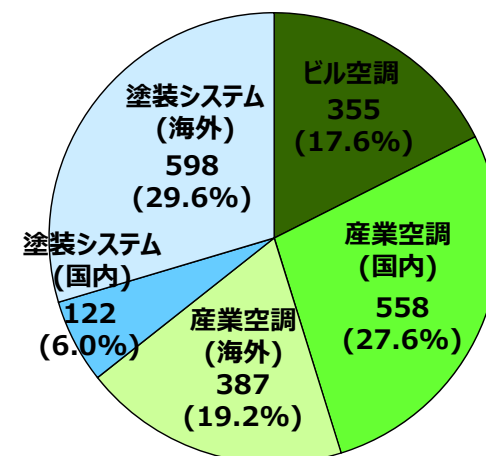
- ・産業空調分野同様、景気悪化に伴い設備投資の調整局面が続いたことにより、予想を下回った。

事業別構成

2021.3
実績



期初予想



1 2021年3月期決算ハイライト

2-①. 事業別完成工事高（前期比）

単位：億円

	2020.3	2021.3	増減
完成工事高	2,253	2,025	(-228)
（うち国内）	(1,323)	(1,097)	(-225)
（うち海外）	(930)	(927)	(-2)
環境システム事業	1,573	1,340	-233
ビル空調	549	409	-140
産業空調	1,024	930	-93
（うち国内）	(634)	(558)	(-76)
（うち海外）	(389)	(372)	(-16)
塗装システム事業	680	684	4
（うち国内）	(139)	(129)	(-9)
（うち海外）	(540)	(555)	(14)

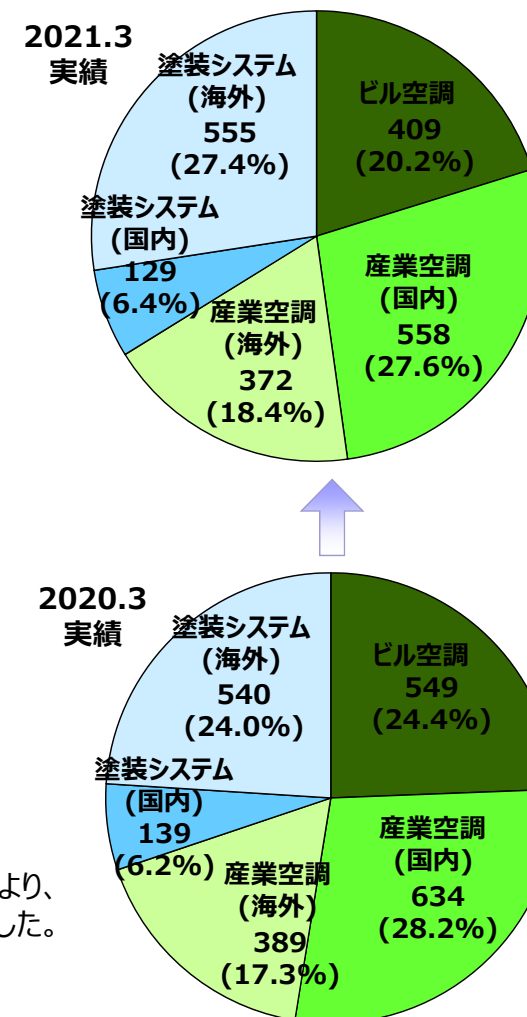
（環境システム事業）

- ・ビル空調分野は、前期は大型再開発案件の出来高があったため、反動減となった。
- ・産業空調の国内は、前期は複数の大型案件が寄与し、反動減となった。
- ・産業空調の海外は繰越工事高は前年同期初より多かったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外の一部地域で大型物件の工期遅れが発生したことに加え、当期受注当期完工が伸び悩み、減少した。

（塗装システム事業）

- ・一部投資計画の延期などあったものの、海外の大型物件の進捗が順調に推移し、増加した。

事業別構成



1 2021年3月期決算ハイライト

2-②. 事業別完成工事高（予想比）

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
完成工事高	2,030	2,025	-4
（うち国内）	（1,052）	（1,097）	（45）
（うち海外）	（978）	（927）	（-50）
環境システム事業	1,300	1,340	40
ビル空調	360	409	49
産業空調	940	930	-9
（うち国内）	（558）	（558）	（0）
（うち海外）	（382）	（372）	（-9）
塗装システム事業	730	684	-45
（うち国内）	（134）	（129）	（-4）
（うち海外）	（596）	（555）	（-41）

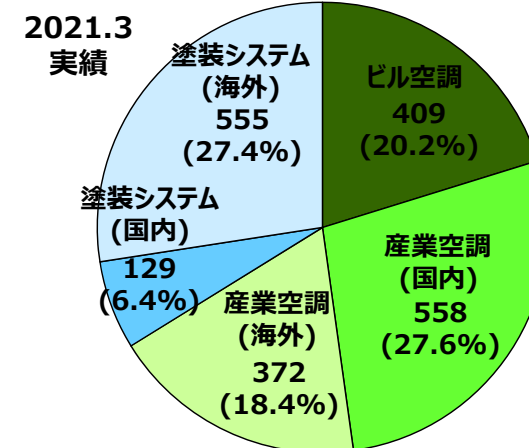
（環境システム事業）

・当初想定していた新型コロナウイルス感染拡大による施工活動への影響は限定的で、予想を上回った。

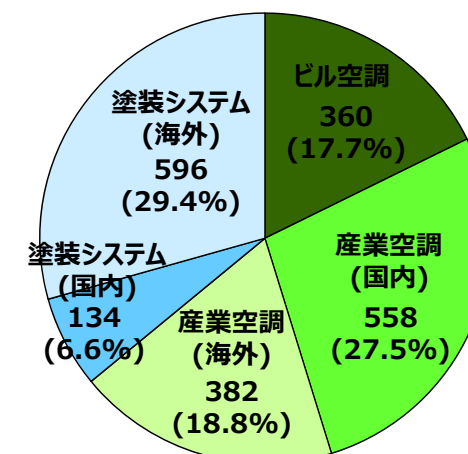
（塗装システム事業）

・景気悪化の影響により設備投資の調整局面が続いたことに加え、都市ロックダウンの影響による工事中断等により予想を下回った。

事業別構成



期初予想



1 2021年3月期決算ハイライト

3-①. 事業別利益（前期比）

単位：億円

	2020.3	2021.3	増減
営業利益	154	116	-37
（同率）	6.9%	5.8%	-1.1%
環境システム事業	135	111	-24
（同率）	8.6%	8.3%	-0.3%
塗装システム事業	27	9	-18
（同率）	4.1%	1.4%	-2.7%
経常利益	159	122	-37
（同率）	7.1%	6.1%	-1.0%
環境システム事業	138	111	-27
（同率）	8.8%	8.3%	-0.5%
塗装システム事業	28	9	-19
（同率）	4.1%	1.3%	-2.8%

（環境システム事業）

・完成工事高が大幅に減少したことにより減益となった。

（塗装システム事業）

・競争激化に伴い、採算性の高い物件の比率が低下したことにより、減益となった。

1 2021年3月期決算ハイライト

3-②. 事業別利益（予想比）

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
営業利益	110	116	6
（同率）	5.4%	5.8%	0.4%
環境システム事業	106	111	5
（同率）	8.2%	8.3%	0.1%
塗装システム事業	12	9	-2
（同率）	1.6%	1.4%	-0.2%
経常利益	120	122	2
（同率）	5.9%	6.1%	0.2%
環境システム事業	108	111	3
（同率）	8.3%	8.3%	0.0%
塗装システム事業	13	9	-3
（同率）	1.8%	1.3%	-0.5%

（塗装システム事業）

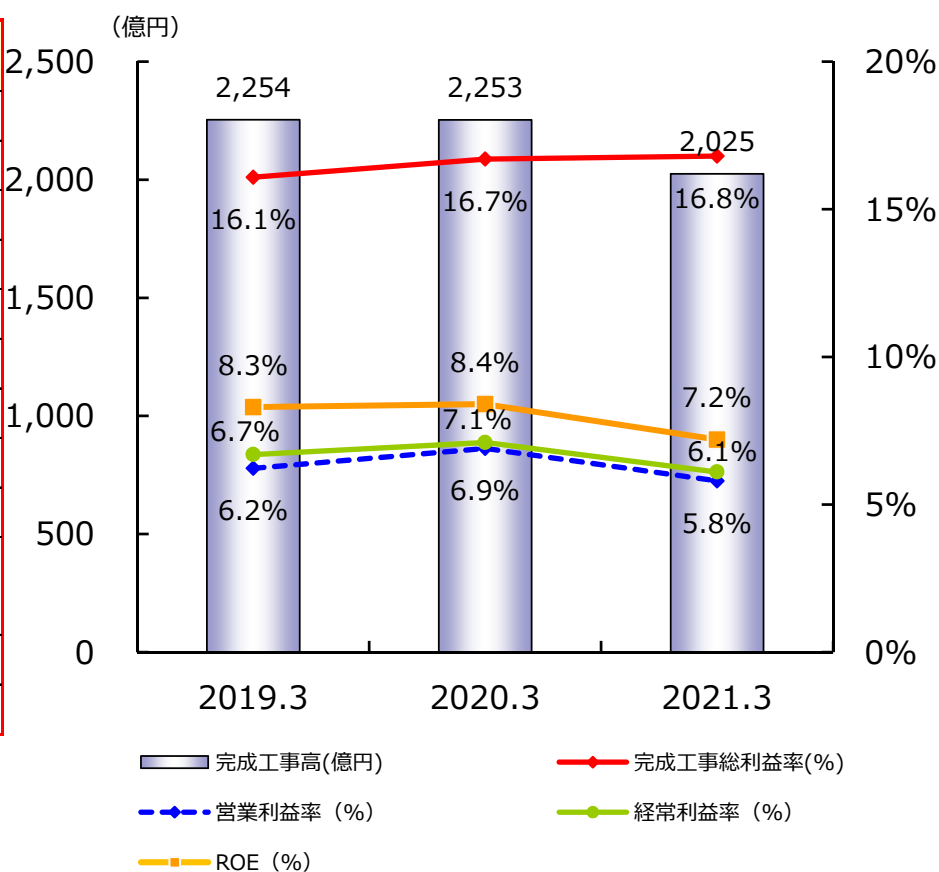
・景気悪化の影響から市場回復が想定より遅れたことにより完成工事高が減少したため、予想を下回った。

1 2021年3月期決算ハイライト

4. 損益計算書

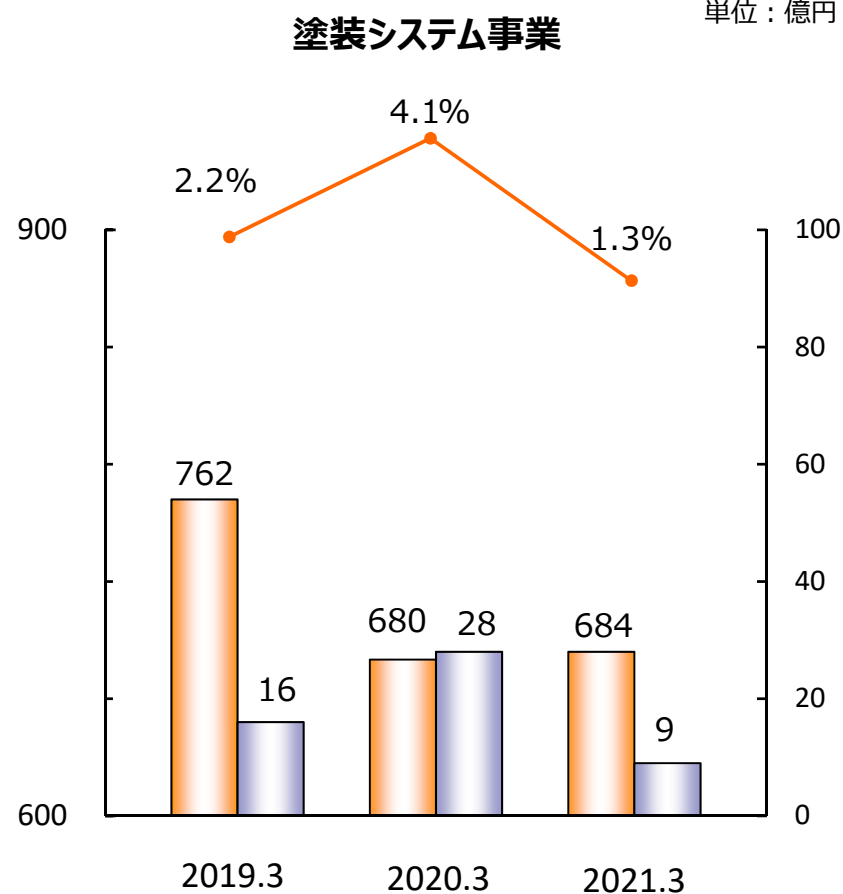
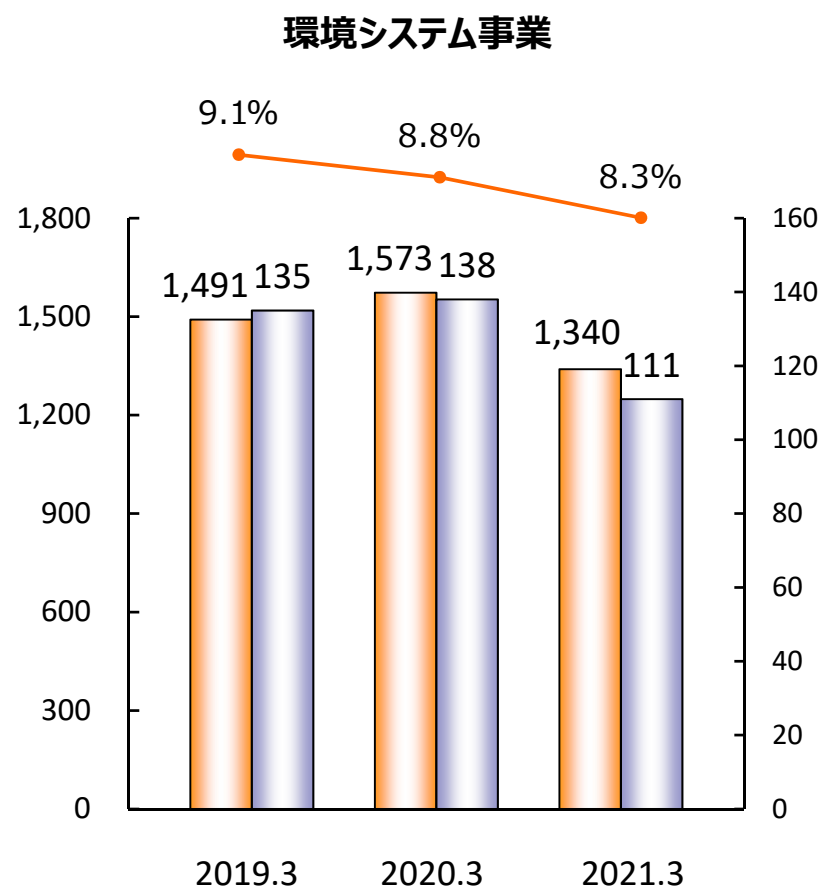
単位：億円

	2019.3	2020.3	2021.3
完成工事高	2,254	2,253	2,025
完成工事総利益	362	376	340
(同率)	16.1%	16.7%	16.8%
販管費	222	222	223
(同率)	9.9%	9.9%	11.0%
営業利益	140	154	116
(同率)	6.2%	6.9%	5.8%
経常利益	150	159	122
(同率)	6.7%	7.1%	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88	91	82
(同率)	3.9%	4.1%	4.1%
ROE	8.3%	8.4%	7.2%



1 2021年3月期決算ハイライト

5. 報告セグメントごとの完成工事高及び経常利益

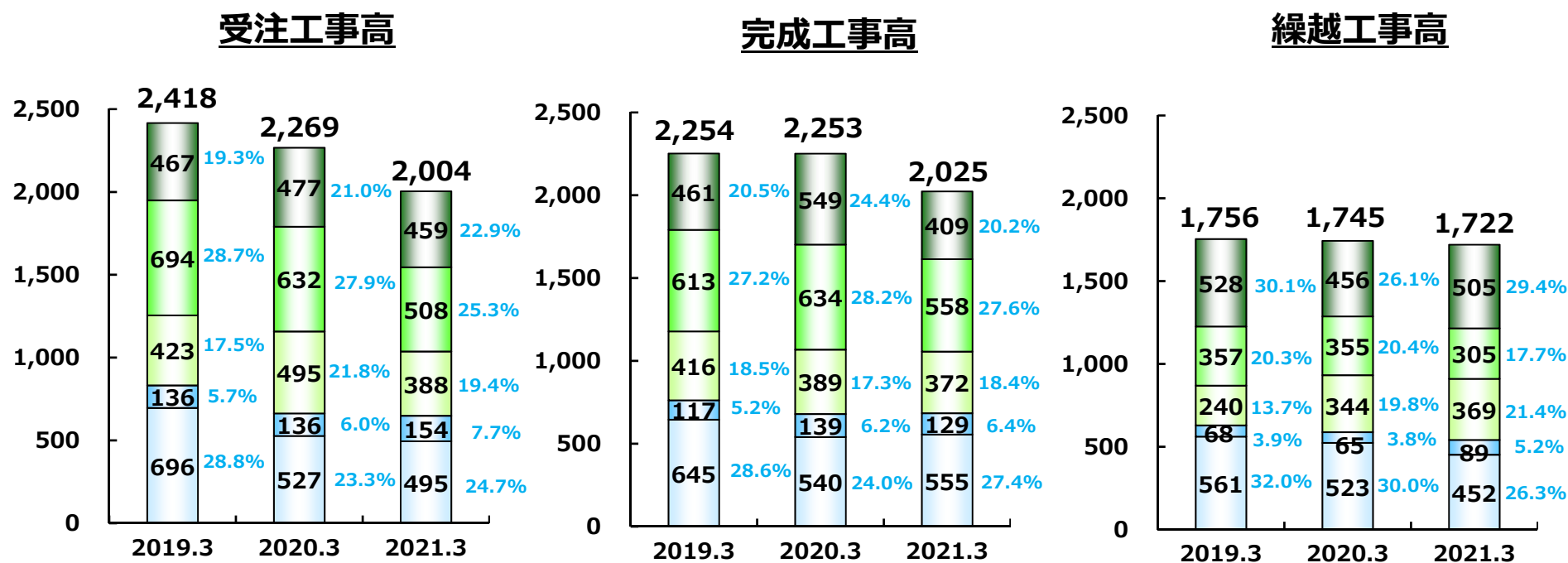


完成工事高 経常利益 経常利益率

1 2021年3月期決算ハイライト

6. 受注工事高／完成工事高／繰越工事高

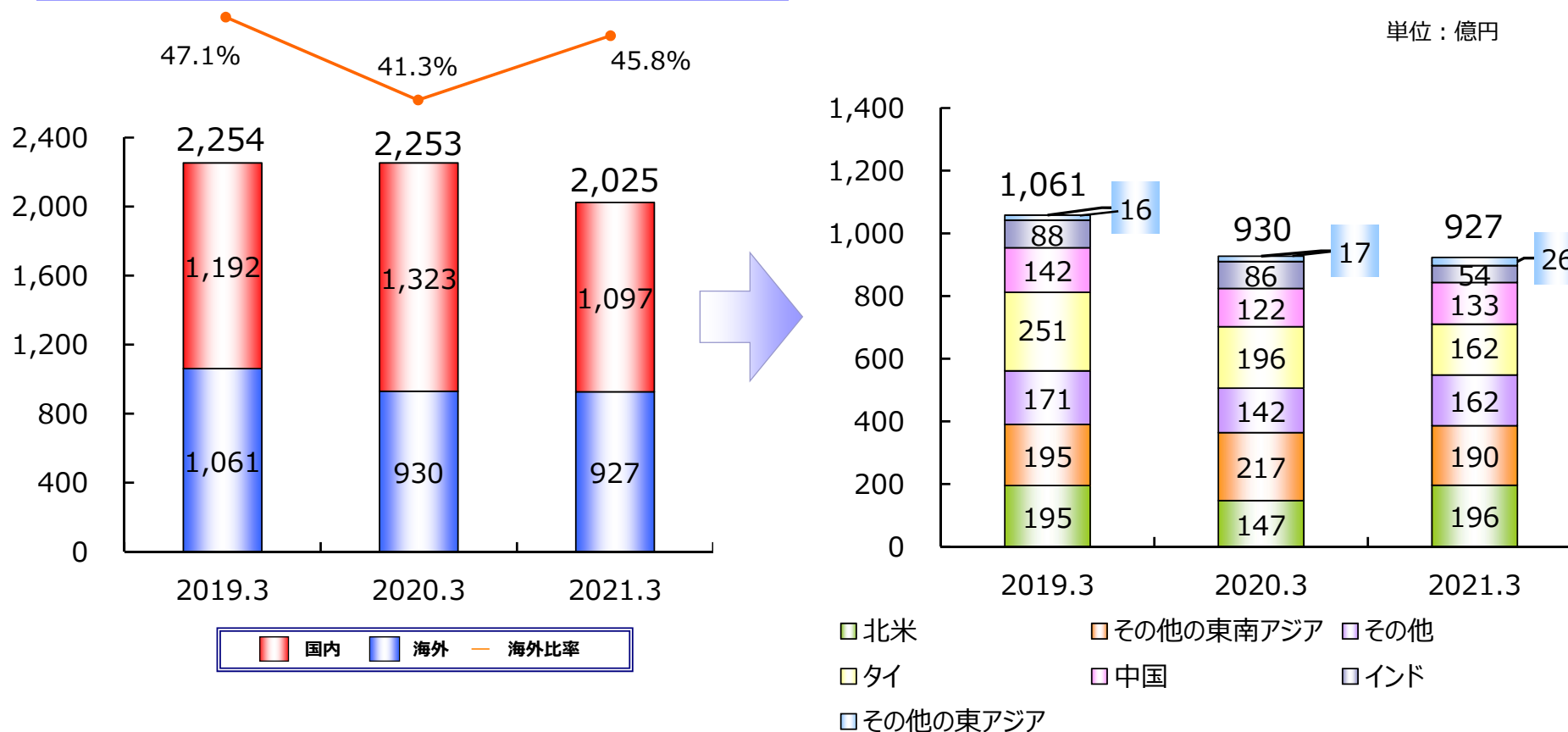
単位：億円



1 2021年3月期決算ハイライト

7. 海外完成工事高の推移(施工地別)

単位：億円



備考：当セグメントデータは、外部顧客への完成工事高のみの数値です。

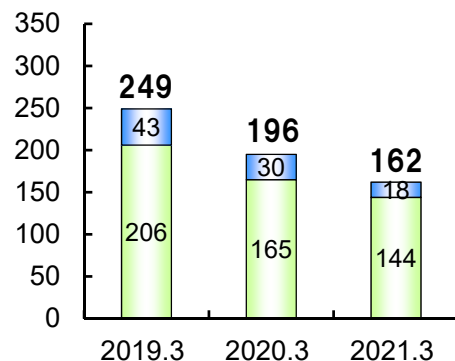
●主な国または地域
 ・東南アジア - - シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他
 ・東アジア - - 台湾、韓国
 ・北米 - - アメリカ、カナダ、メキシコ
 ・その他地域 - - ロシア、南米、他

1 2021年3月期決算ハイライト

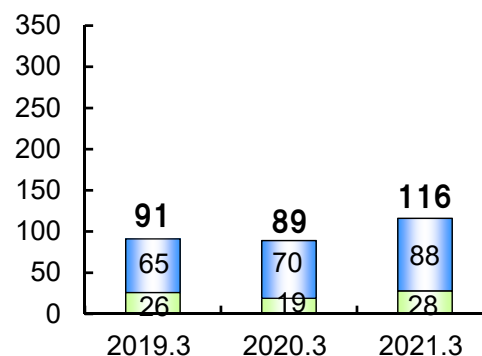
8. 海外主要5社の完成工事高の推移

単位：億円

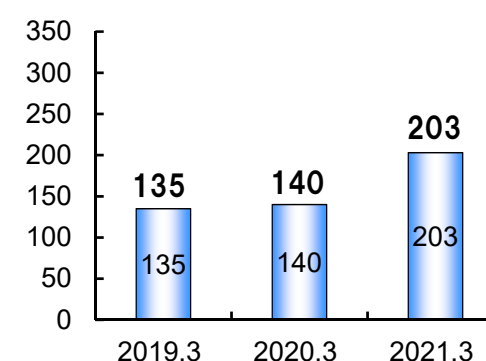
 Taikisha (Thailand) Co.,Ltd.(タイ) グループ



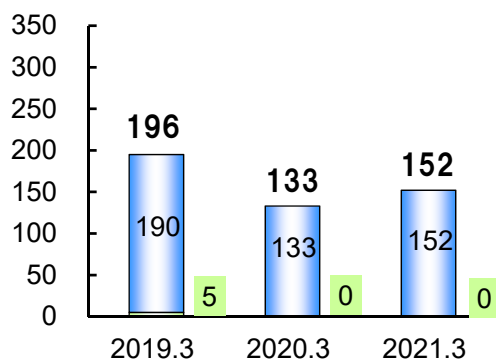
 Wu-Zhou Taikisha Engineering Co., Ltd. (中国) グループ



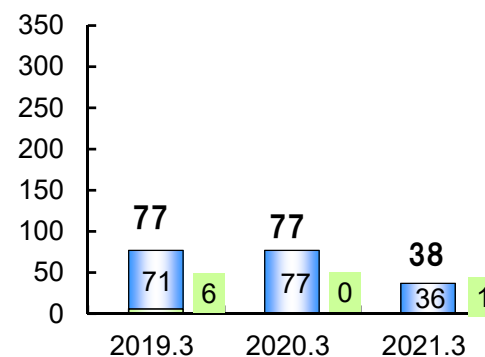
 TKS Industrial Company(米国) グループ



 Geico S.p.A.(イタリア) グループ



 Taikisha Engineering India Private Ltd. (インド)



 塗装システム
 産業空調

大気社とグループ会社間の内部取引額を除いた金額となっております。

1 2021年3月期決算ハイライト

9. 貸借対照表

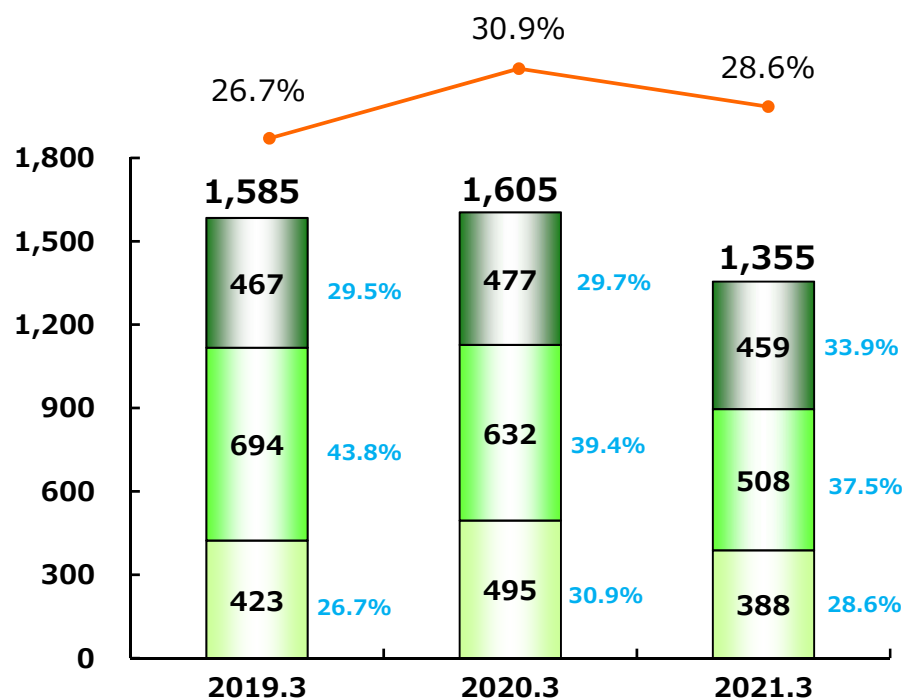
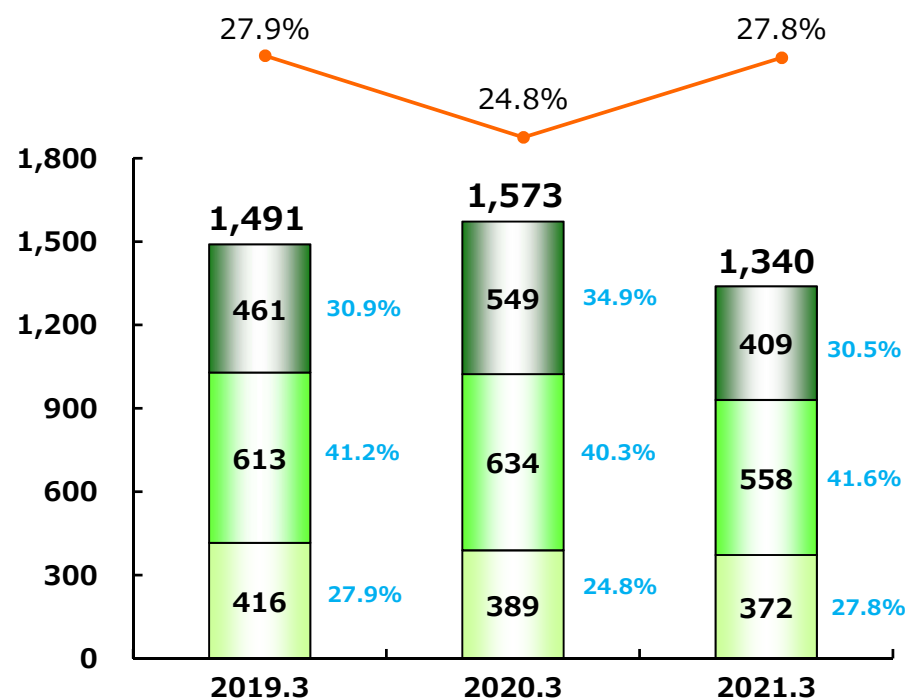
単位：億円

科目	2020.3	2021.3	増減
流動資産	1,689	1,653	-35
現金預金	576	520	-55
受取手形・完成工事未収入金	967	1,014	46
有価証券	35	20	-15
未成工事支出金及び 材料貯蔵品	34	24	-9
その他	79	80	0
貸倒引当金	-3	-6	-3
固定資産	464	634	170
有形固定資産	104	101	-3
のれん	7	40	33
その他無形固定資産	28	43	15
投資有価証券	243	326	82
繰延税金資産	6	10	3
その他	73	112	38
貸倒引当金	-0	-0	0
資産合計	2,153	2,288	134

科目	2020.3	2021.3	増減
流動負債	939	869	-70
支払手形・工事未払金等	576	520	-55
未成工事受入金	143	142	-1
工事損失引当金	2	4	1
その他	216	202	-14
固定負債	86	156	70
負債合計	1,025	1,025	-0
純資産	1,128	1,263	134
資本金	64	64	0
資本剰余金	50	50	0
利益剰余金	908	957	48
自己株式	-25	-25	-0
その他有価証券評価差額金	83	142	58
繰延ヘッジ損益	-0	-0	-0
為替換算調整勘定	3	-2	-6
退職給付に係る調整累計額	-3	24	27
非支配株主持分	46	52	6
負債純資産合計	2,153	2,288	134

2
環境システム事業の業績
1. 受注工事高・完成工事高の推移

単位：億円

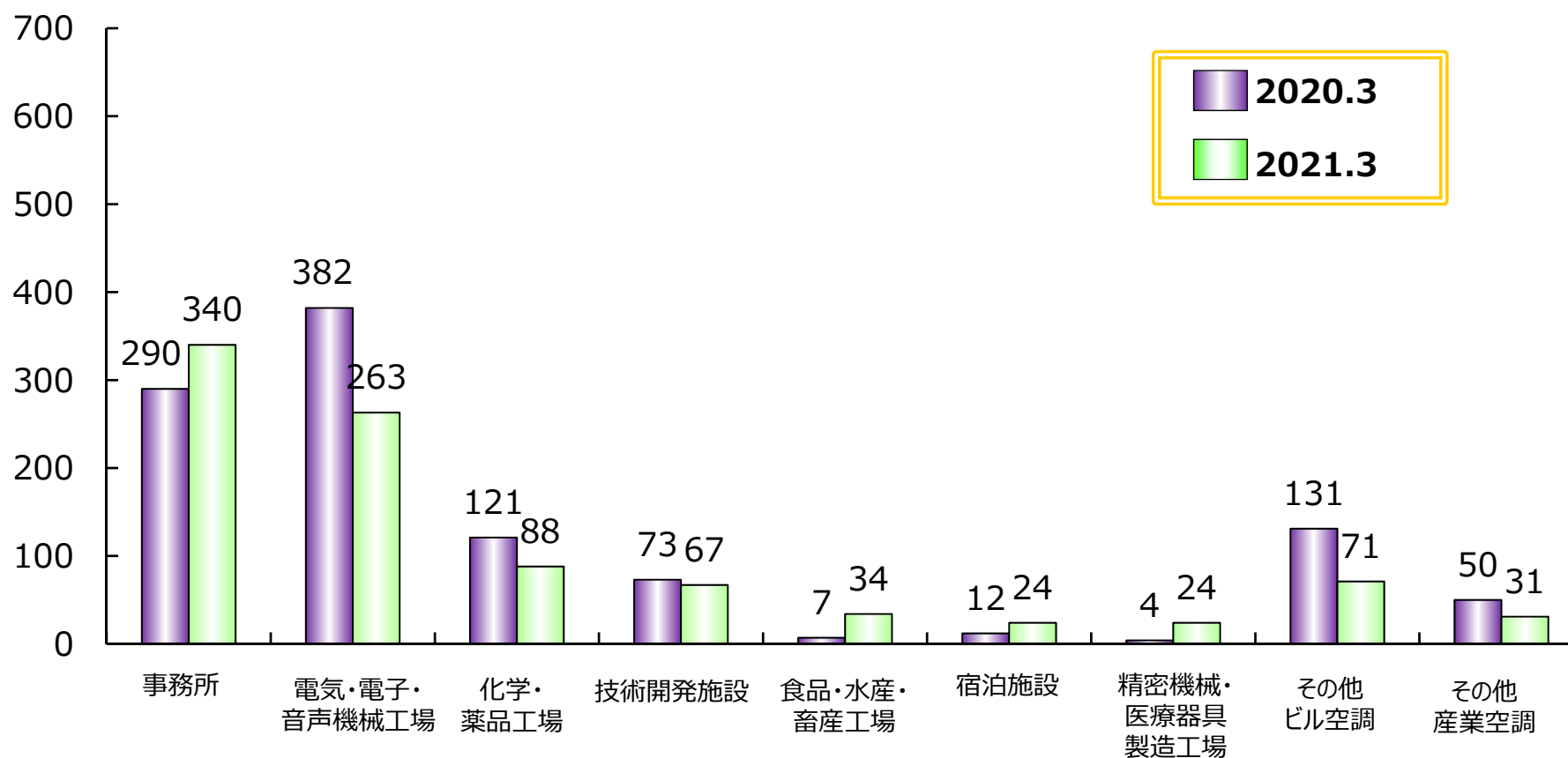
受注工事高

完成工事高


ビル空調
 産業空調(国内)
 産業空調(海外)
 海外比率

2 環境システム事業の業績

2. 市場種別受注状況(個別)

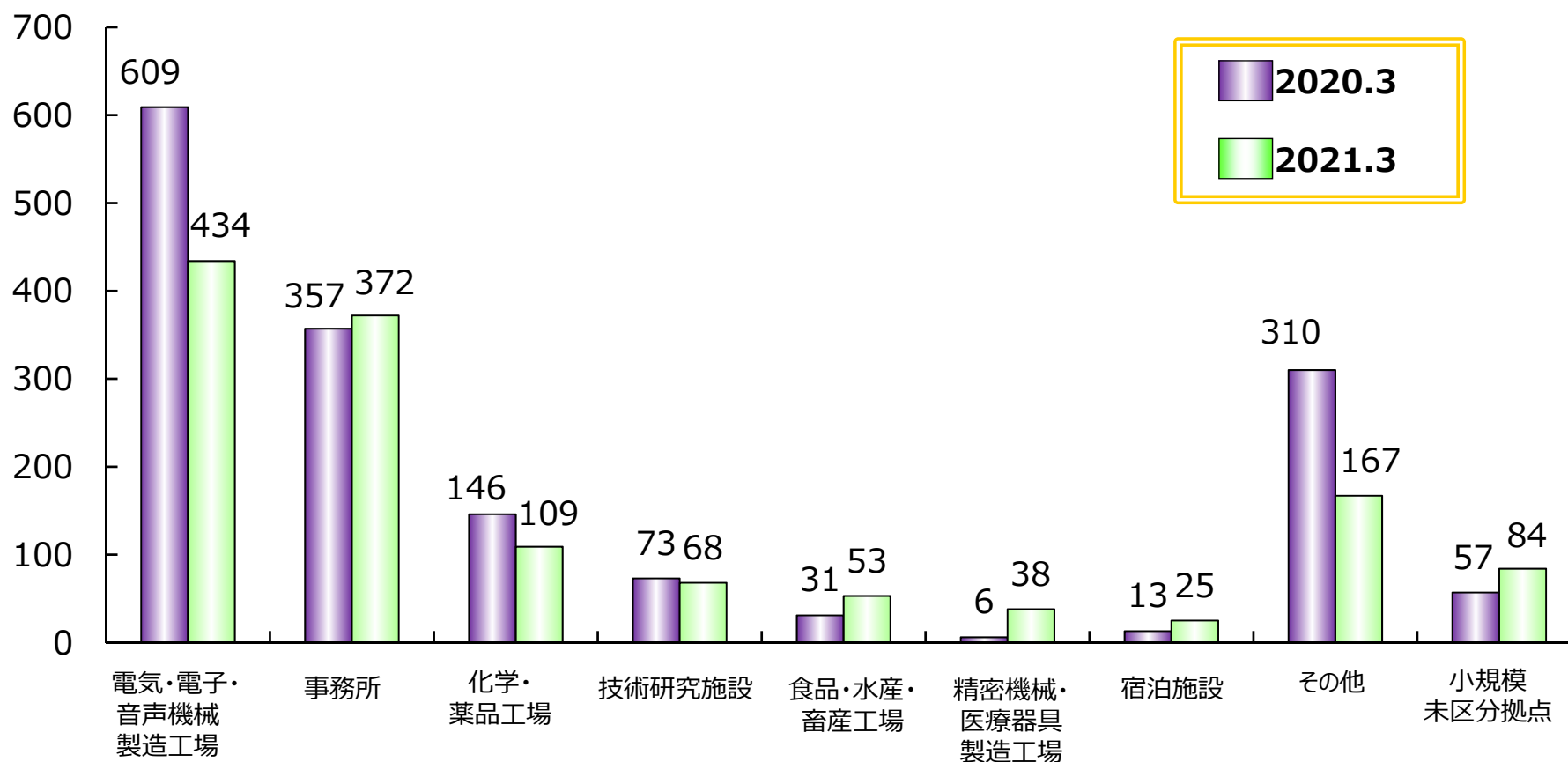
単位：億円



2 環境システム事業の業績

3. 市場種別受注状況(連結)

単位：億円

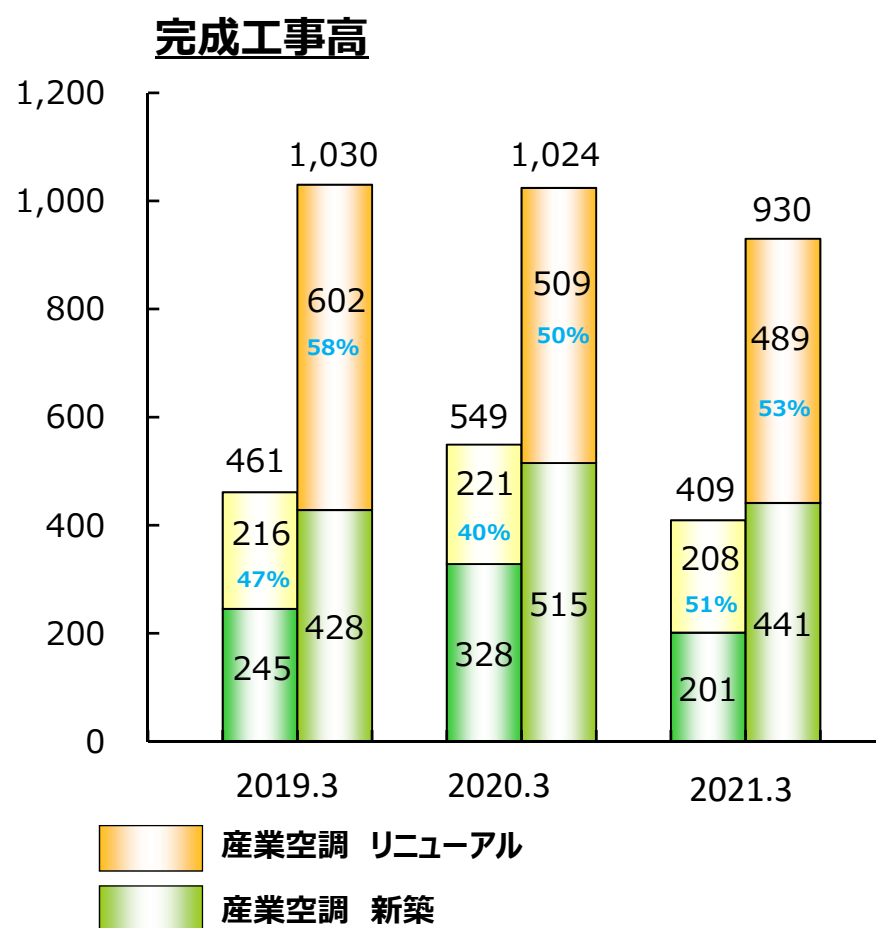
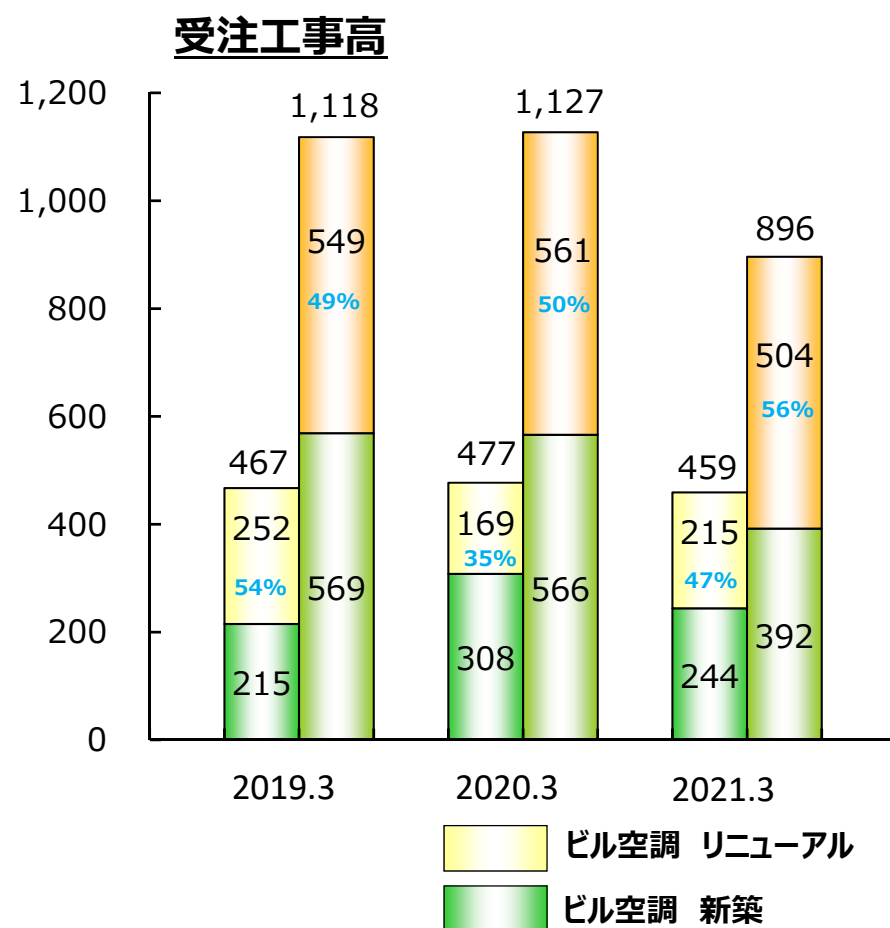


2 環境システム事業の業績

4. リニューアル工事の推移(連結)

単位：億円

%：リニューアル比率

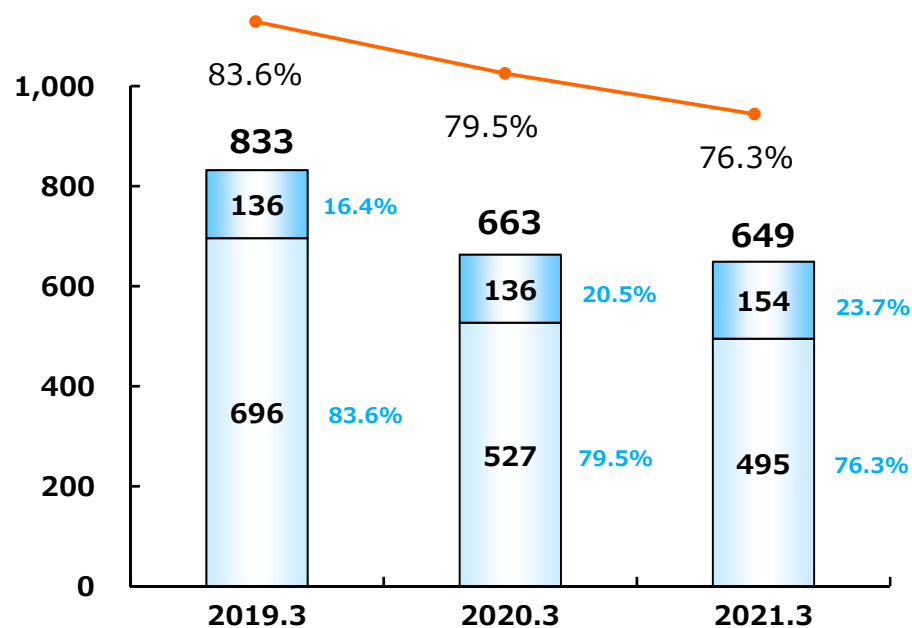


3 塗装システム事業の業績

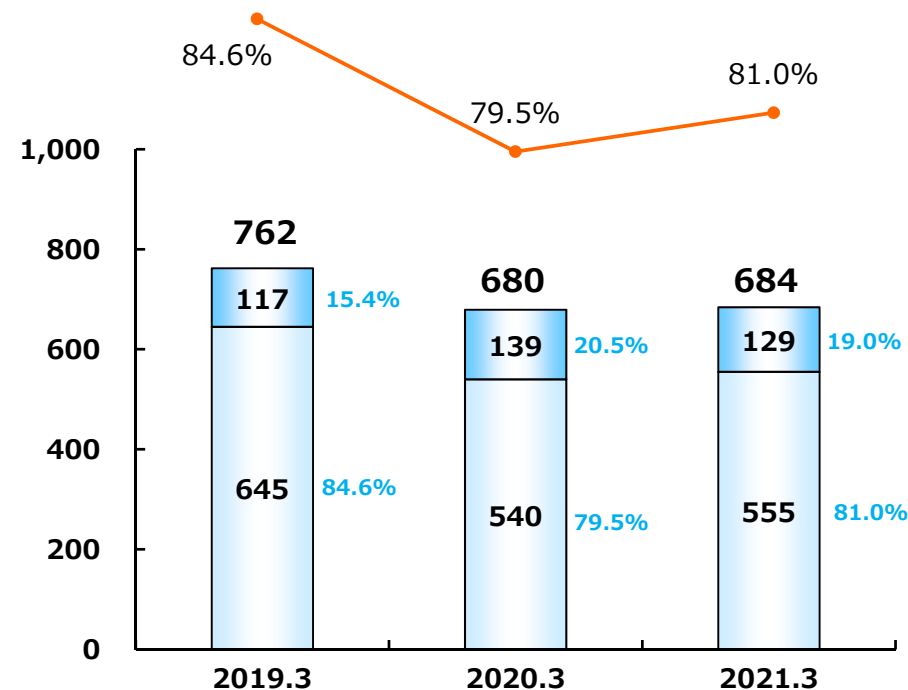
1. 受注工事高・完成工事高の推移

単位：億円

受注工事高



完成工事高

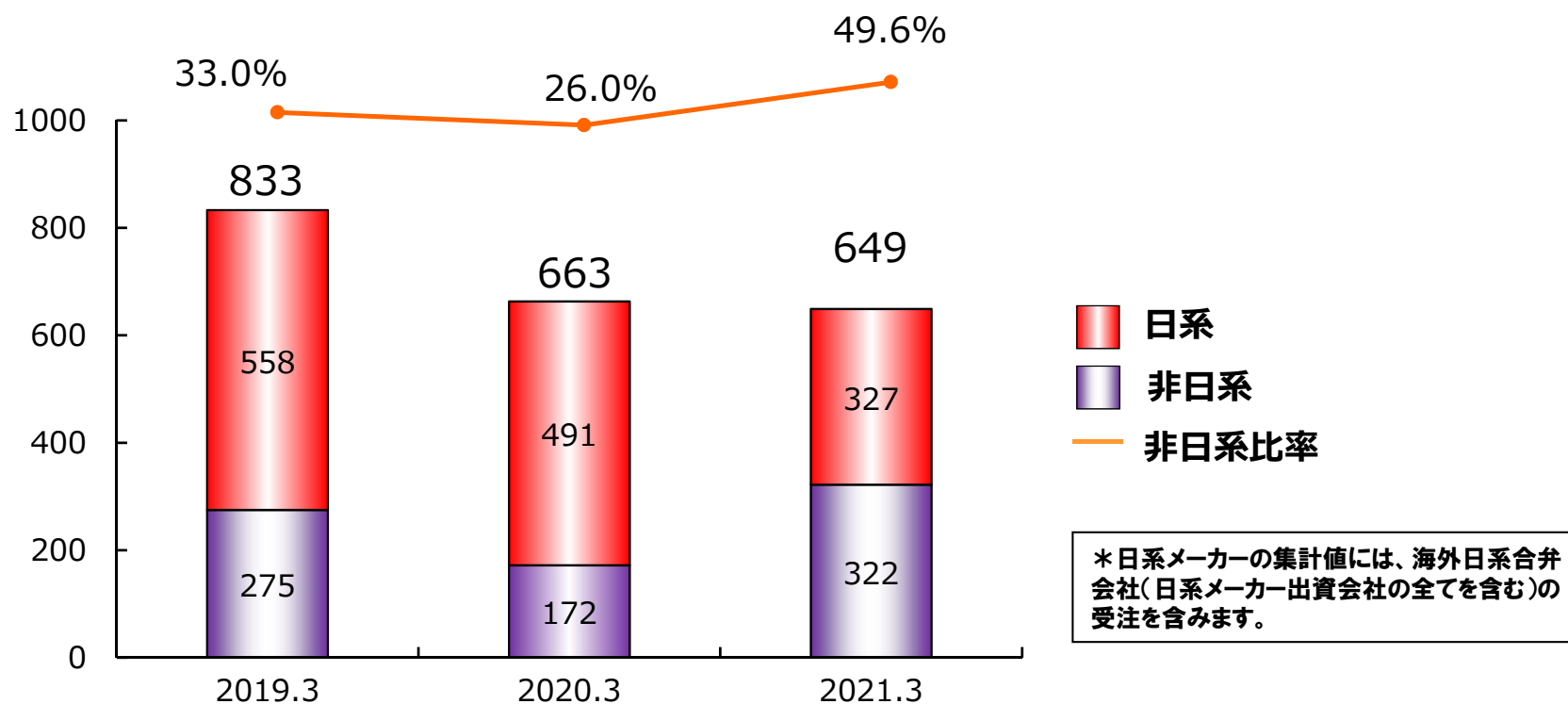


■ 国内 ■ 海外 — 海外比率

3 塗装システム事業の業績

2. 非日系メーカー受注工事高比率

単位：億円



4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

1. 10億円以上の受注工事 全31件（934億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				
受注工事高 合計31件 （934億円）	国内 358億円	17件	事務所	8件
			宿泊施設	1件
			電気・電子	2件
			技術研究施設	2件
			食品	1件
			化学・薬品	1件
			自動車部品	1件
			その他	1件
	海外 576億円	14件	事務所	2件
			その他工場	1件
			自動車	8件
			トラック	1件
			二輪車	1件
			鉄道	1件

4

主な受注工事・完成工事・繰越工事

2. 10億円以上の完成工事 全31件（713億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				
完成工事高 合計31件 （713億円）	国内 247億円	14件	事務所	4件
			宿泊施設	1件
			電気・電子	6件
			化学・薬品	2件
			自動車	1件
	海外 466億円	17件	事務所	1件
			商業施設	1件
			電気・電子	1件
			化学・薬品	1件
			自動車	12件
			トラック	1件

4

主な受注工事・完成工事・繰越工事

3. 10億円以上の繰越工事 全39件（965億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				繰越工事	内 2021年度 完成予定
繰越工事高 合計39件 （965億円）	国内 488億円	23件	事務所	13件	3件
			医療・福祉施設	1件	-
			行政施設	1件	-
			技術研究施設	3件	-
			化学・薬品	2件	2件
			食品	1件	-
			自動車部品	1件	1件
			その他	1件	-
	海外 476億円	16件	事務所	2件	-
			鉄道施設・空港	2件	-
			電気・電子	2件	-
			その他工場	1件	-
			自動車	7件	4件
			トラック	1件	-
			鉄道	1件	-

5 2022年3月期業績予想

事業部別予想値

単位：億円

	2020.3			2021.3			2022.3								
	環境 システム	塗装 システム	全社	環境 システム	塗装 システム	全社	環境システム			塗装システム			全社		
							上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)
受注工事高	1,605	663	2,269	1,355	649	2,004	600	1,110	1,710	340	390	730	940	1,500	2,440
完成工事高	1,573	680	2,253	1,340	684	2,025	600	820	1,420	320	440	760	920	1,260	2,180
営業利益	135	27	154	111	9	116	24	82	106	1	26	27	23	104	127
(同率)	8.6%	4.1%	6.9%	8.3%	1.4%	5.8%	4.0%	10.0%	7.5%	0.3%	5.9%	3.6%	2.5%	8.3%	5.8%
経常利益	138	28	159	111	9	122	25	83	108	1	26	27	27	108	135
(同率)	8.8%	4.1%	7.1%	8.3%	1.3%	6.1%	4.2%	10.1%	7.6%	0.3%	5.9%	3.6%	2.9%	8.6%	6.2%
純利益	-	-	91	-	-	82	-	-	-	-	-	-	17	67	84
(同率)	-	-	4.1%	-	-	4.1%	-	-	-	-	-	-	1.8%	5.3%	3.9%

① 2020年3月期決算為替レート：1USD=109.37円、1ユーロ=122.51円、1タイバーツ=3.52円

② 2021年3月期決算為替レート：1USD=106.68円、1ユーロ=122.01円、1タイバーツ=3.42円

③ 2022年3月期想定為替レート：1USD=103円、1ユーロ=121円、1タイバーツ=3.30円

※2022年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額

⇒受注・完工：約12億円、経常利益：約0.5億円

①と②の為替差による影響 完成工事高：△21.6億円、経常利益：△0.5億円

5 2022年3月期業績予想

受注工事高

単位：億円

	2021.3 実績 A			2022.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注工事高	945	1,059	2,004	940	1,500	2,440	-5	440	435
（うち国内）	(449)	(672)	(1,121)	(504)	(814)	(1,318)	(54)	(142)	(196)
（うち海外）	(495)	(387)	(883)	(436)	(686)	(1,122)	(-59)	(298)	(238)
環境システム事業	594	760	1,355	600	1,110	1,710	5	349	354
ビル空調	161	297	459	210	234	444	48	-63	-15
産業空調	433	462	896	390	876	1,266	-43	413	369
（うち国内）	(238)	(269)	(508)	(239)	(501)	(740)	(0)	(231)	(231)
（うち海外）	(194)	(193)	(388)	(151)	(375)	(526)	(-43)	(181)	(138)
塗装システム事業	350	299	649	340	390	730	-10	90	80
（うち国内）	(49)	(104)	(154)	(55)	(79)	(134)	(5)	(-25)	(-20)
（うち海外）	(300)	(194)	(495)	(285)	(311)	(596)	(-15)	(116)	(100)

（環境システム事業部）

- ビル空調分野の建設需要は、大型再開発やリニューアルに加え、データセンター需要など中長期的には底堅く推移すると予想している。
- 産業空調分野では、海外においては、5Gの普及やCASEの本格化に合わせ、投資が継続する見通し。また、国内において医薬品メーカーなどによる新規設備投資が見込まれている。

（塗装システム事業部）

- 国内においては、設備投資の調整局面が継続する見込みであるものの、北米・欧州などでは更新投資、中国では増産投資が見込まれており、設備投資の回復が期待される。

5 2022年3月期業績予想

完成工事高

単位：億円

	2021.3 実績 A			2022.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
完成工事高	815	1,209	2,025	920	1,260	2,180	104	50	154
(うち国内)	(474)	(623)	(1,097)	(450)	(613)	(1,063)	(-24)	(-10)	(-34)
(うち海外)	(341)	(586)	(927)	(470)	(647)	(1,117)	(128)	(60)	(189)
環境システム事業	573	767	1,340	600	820	1,420	26	52	79
ビル空調	175	234	409	180	193	373	4	-41	-36
産業空調	397	533	930	420	627	1,047	22	94	116
(うち国内)	(258)	(299)	(558)	(214)	(347)	(561)	(-44)	(47)	(2)
(うち海外)	(139)	(233)	(372)	(206)	(280)	(486)	(66)	(46)	(113)
塗装システム事業	242	442	684	320	440	760	77	-2	75
(うち国内)	(40)	(89)	(129)	(56)	(73)	(129)	(15)	(-16)	(-0)
(うち海外)	(201)	(353)	(555)	(264)	(367)	(631)	(62)	(13)	(76)

- ・ビル空調分野は、完成工事高に寄与する大型物件が少なく、一時的に下振れる見通し。
- ・国内の産業空調は、繰越物件が少ないものの、当期受注当期完工となる物件確保を見越し、横ばいとなる見通し。
- ・海外は産業空調、塗装事業ともに、前期に新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画延期となっていた物件の出来高確保を見込んでいる。

5 2022年3月期業績予想

利益

単位：億円

	2021.3 実績 A			2022.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	37	85	122	27	108	135	-10	22	12
(同率)	4.5%	7.1%	6.1%	2.9%	8.6%	6.2%	-1.6%	1.5%	0.1%
環境システム事業	44	67	111	25	83	108	-19	15	-3
(同率)	7.8%	8.8%	8.3%	4.2%	10.1%	7.6%	-3.6%	1.3%	-0.7%
塗装システム事業	-10	19	9	1	26	27	11	6	17
(同率)	-4.4%	4.4%	1.3%	0.3%	5.9%	3.6%	4.7%	1.5%	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	52	82	17	67	84	-13	14	1
(同率)	3.8%	4.3%	4.1%	1.8%	5.3%	3.9%	-1.9%	1.0%	-0.2%

【経常利益】

(環境システム事業部)

採算性が低い期初繰越物件の影響により、減益となる見通し。

(塗装システム事業部)

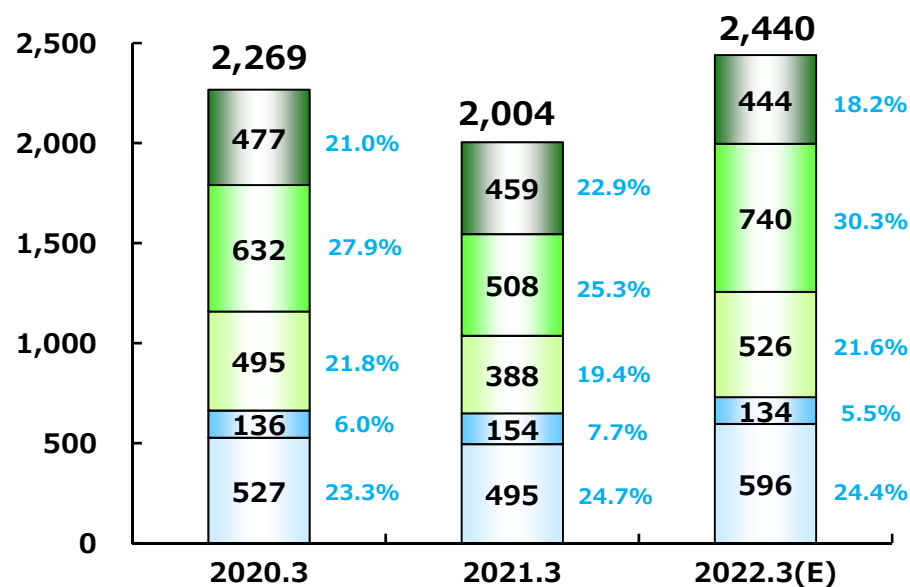
前期に出件が遅れた案件の取込みや、工事進捗の遅れにより出来高遅延のあった繰越案件での完成工事高増加に伴う利益増を見込む。

5 2022年3月期業績予想

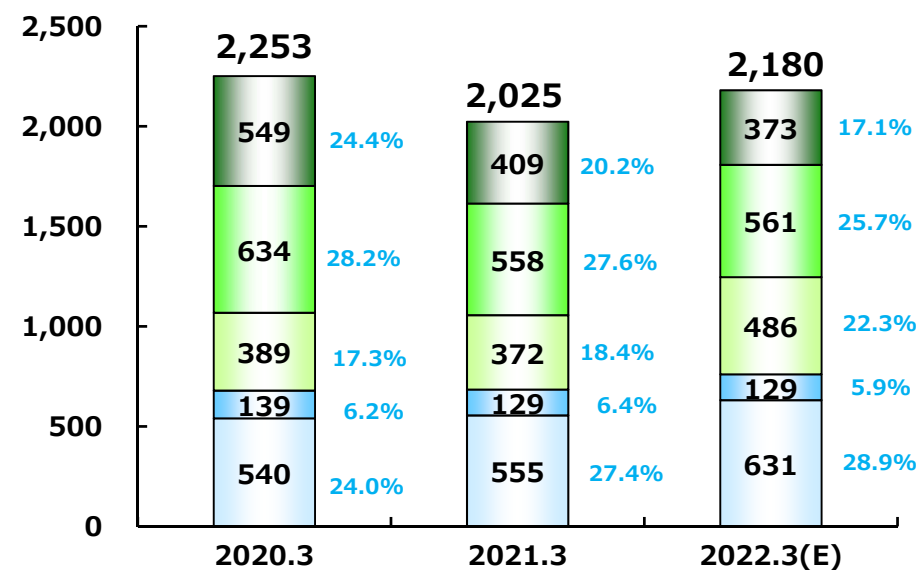
事業別予想値

単位：億円

受注工事高



完成工事高

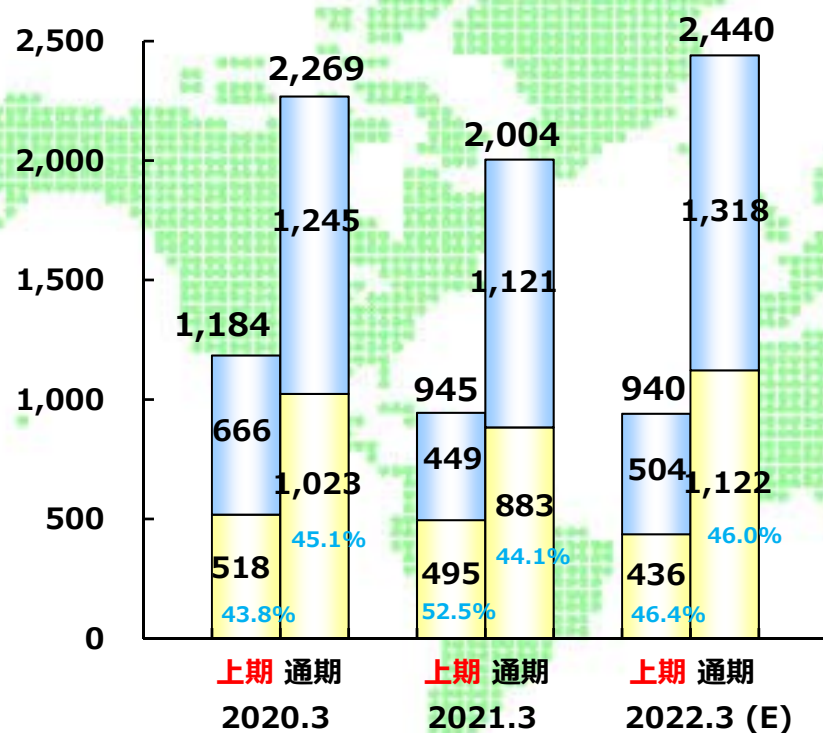


5 2022年3月期業績予想

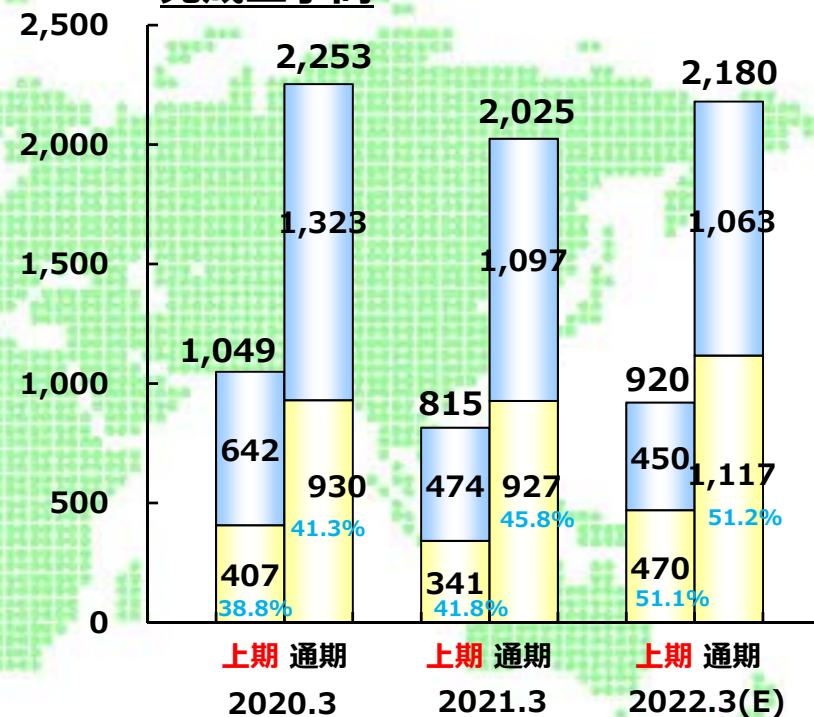
全社（国内／海外別）

(単位:億円)
(%: 海外比率)

受注工事高



完成工事高

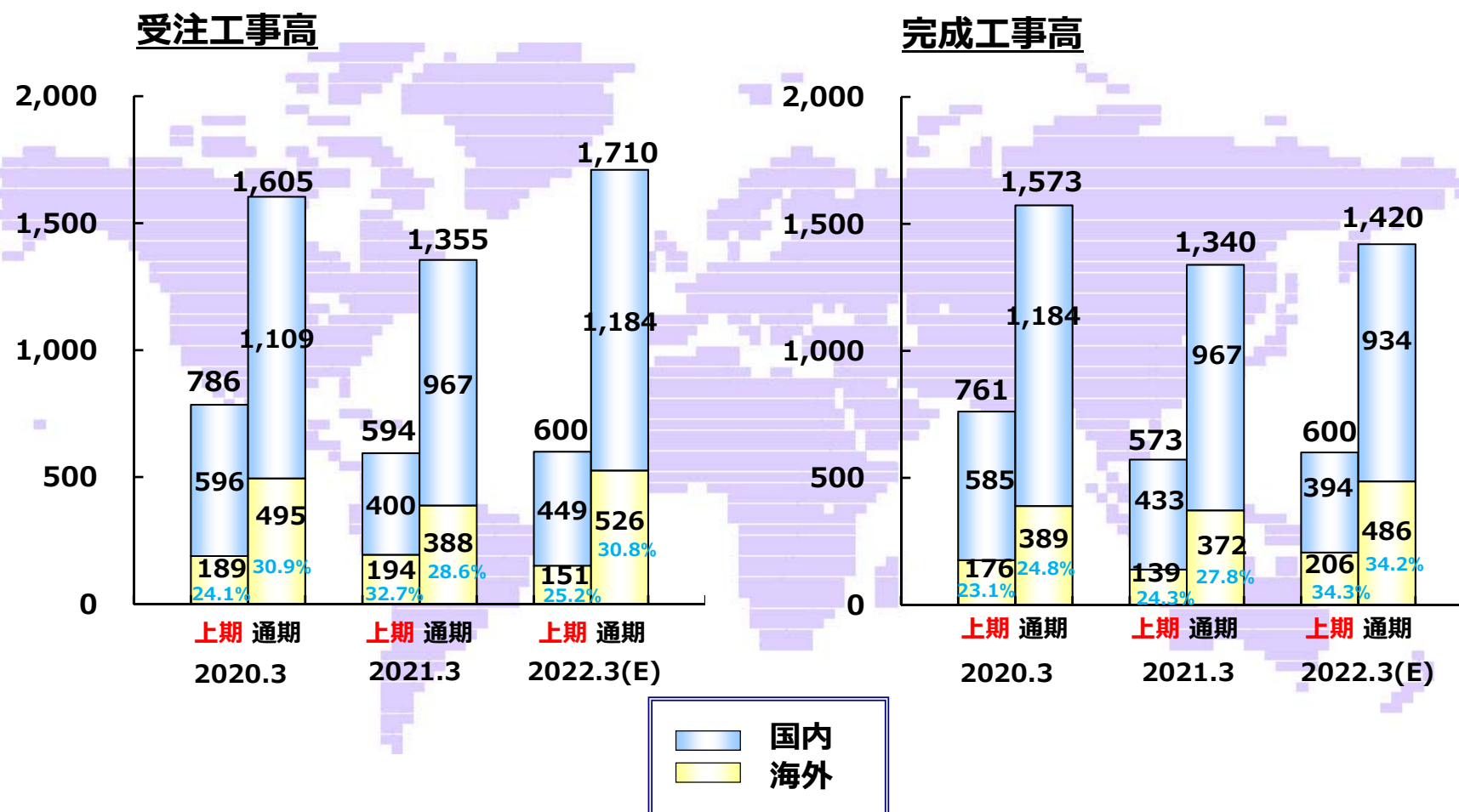


国内
海外

5 2022年3月期業績予想

環境システム事業（国内／海外別）

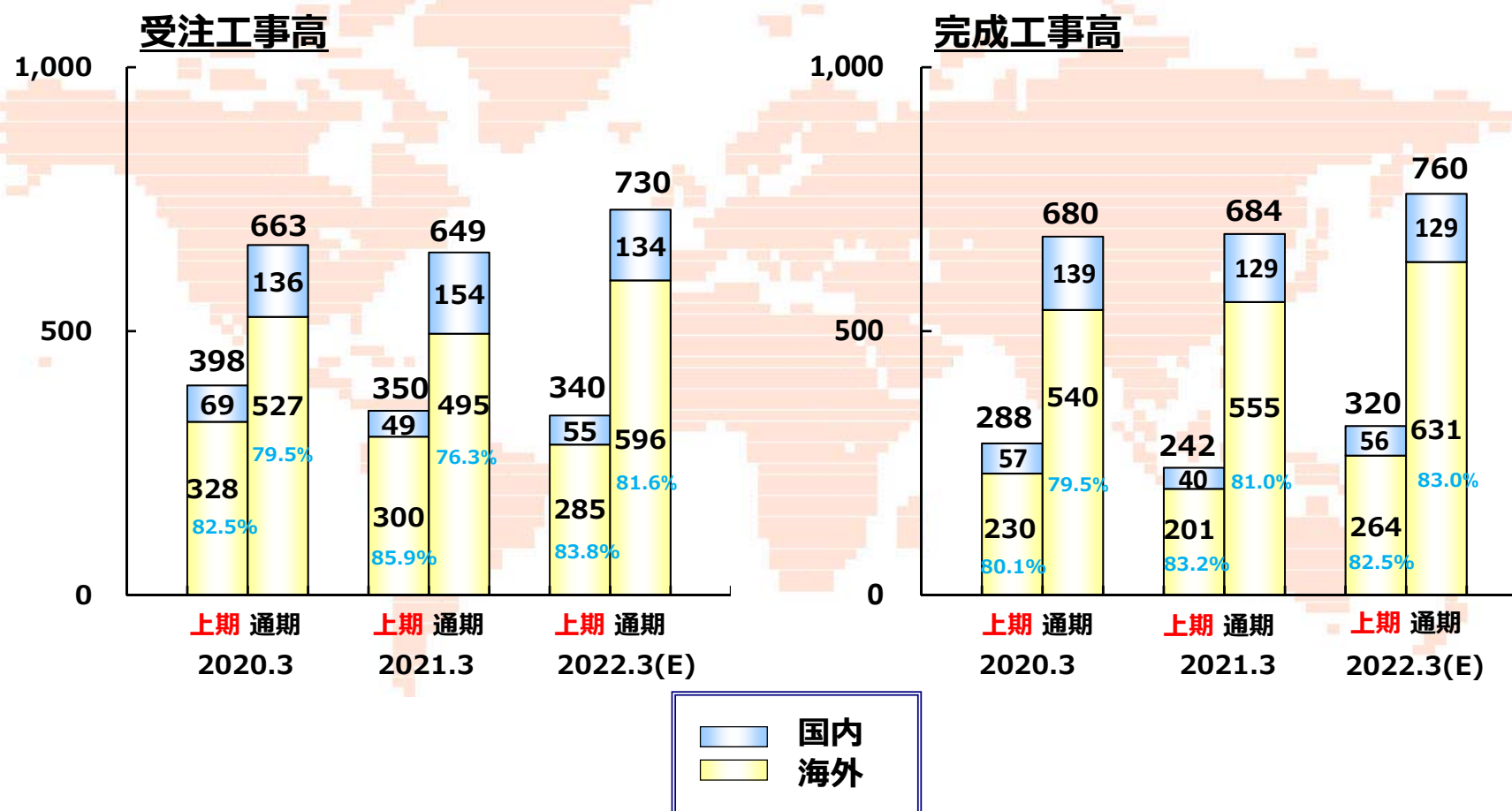
(単位:億円)
(%: 海外比率)



5 2022年3月期業績予想

塗装システム事業（国内／海外別）

(単位:億円)
(%: 海外比率)





2. 中期経営計画（2019年度～21年度）の 各戦略における取り組み

長期ビジョン／数値目標／投資テーマ

「特色あるエンジニアリングを通じ、
最適な環境を創造するグローバルな企業グループを目指す」

技術

エネルギー・空気・水に関わる技術で、
お客様の多様なニーズを満たすエンジニアリング集団を目指す。

環境

先進的なソリューション技術でお客様の環境課題を解決し、
豊かな地球環境を未来へ引き継ぐことに貢献する。

人材

個人の創造性・多様性を尊重し、社員が自己の成長と働く喜びを感じることができる
風土を大切にする。

2022 年 3 月期 数値目標

受注工事高	2,650 億円
完成工事高	2,600 億円
経常利益	160 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円
自己資本利益率 (ROE)	8 %以上
投資計画	200 億円

投資テーマ

技術開発力・提案力の強化／新規事業への取り組み推進
(研究開発施設の拡充など)

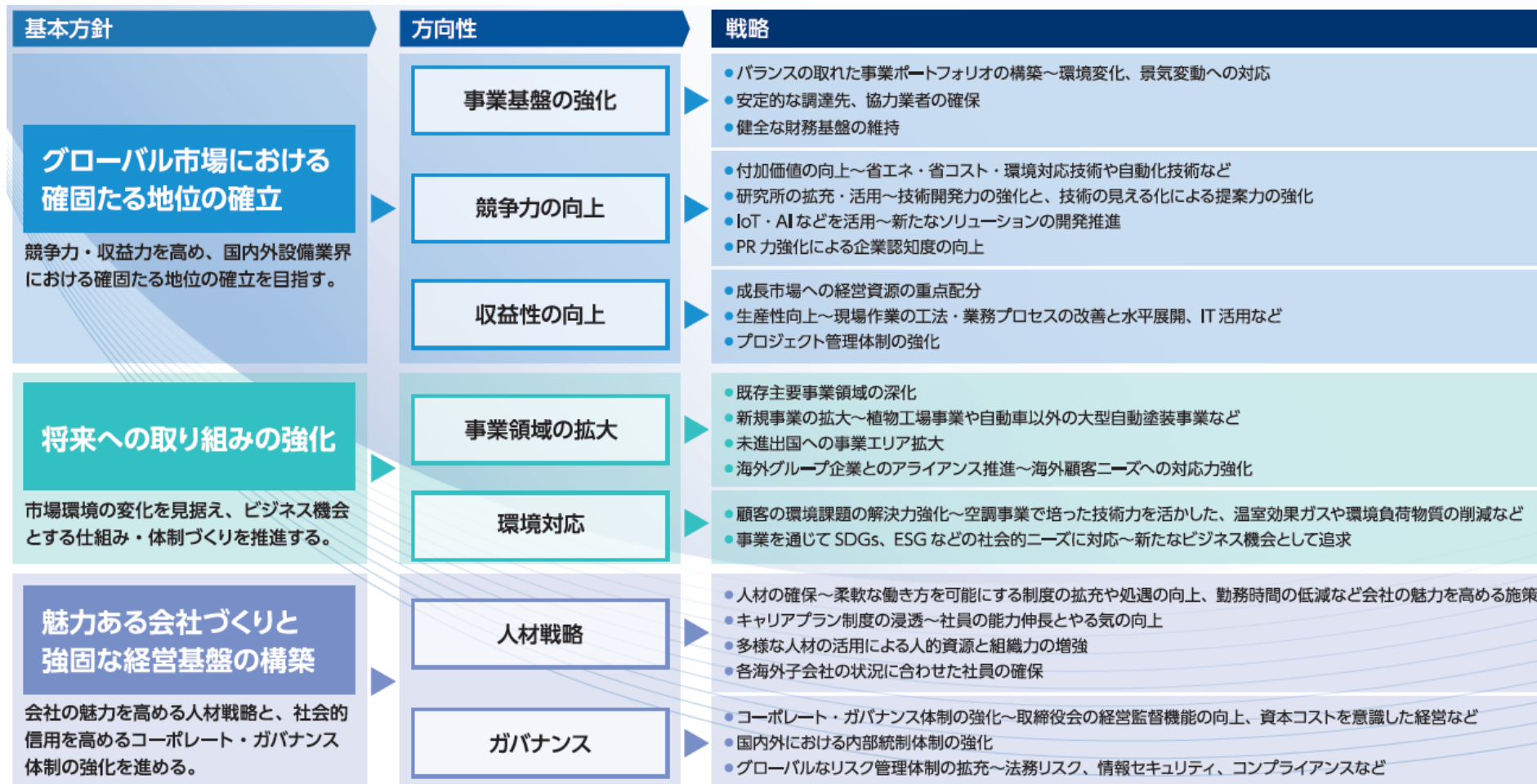
生産性の向上(ITの活用など)・人材開発

M&Aなど資本投資

投資金額 (計画)

200億円

基本方針と方向性・戦略



各戦略における取り組み ～今期の実績①～

戦略：新規事業の拡大～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など

植物工場事業の領域拡大及び自社量産工場建設

当社は植物工場事業のさらなる領域拡大・拡充を目的に、プラント建設から野菜の生産・販売まで一貫したソリューションを提供する100%出資の子会社「株式会社ベジ・ファクトリー」を設立しました。あわせて埼玉・杉戸町に、初の自社量産実証工場を建設中です。(2021年7月竣工予定)

今回の子会社設立により、当社グループは野菜生産販売の総合アグリ事業者としての新たなブランド構築を目指します。中期的に業務用市場で一定のシェアを確保したのちには、外食市場や健康食品、医薬品関連企業とも協力し、成長が期待される「食・健康・医療」の領域への参画や、新商品開発や原材料製造などの新しい市場の開拓も視野に入れていきます。



2021年7月竣工予定の杉戸量産実証工場

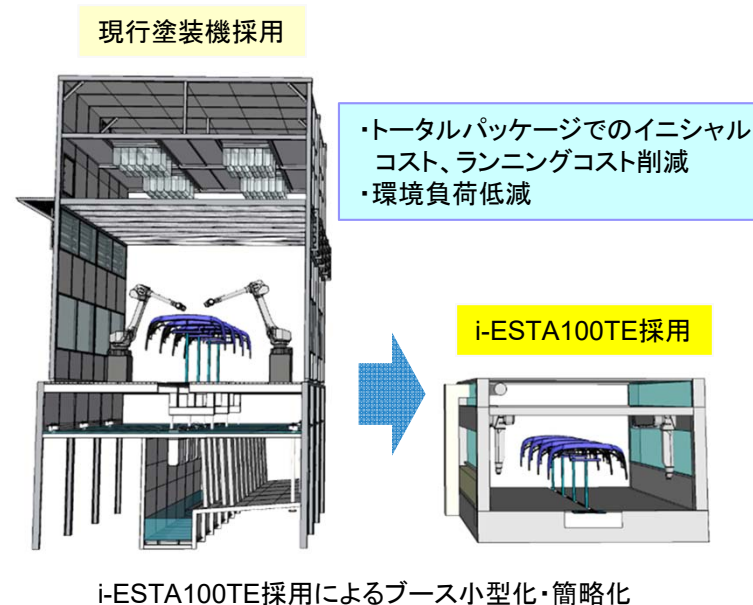
各戦略における取り組み ～今期の実績②～

戦略：付加価値の向上～省エネ・省コスト・環境対応技術や自動化技術など

“塗着効率100%”の自動塗装システムを実現

当社は、電気で塗料を微粒化する静電霧化塗装システム「i-ESTA100TE」をトヨタ車体株式会社様と共同で開発しました。

従来の空気の力で塗料を微粒化していた塗装機の塗着効率は70%程度であったことに対し、新型の静電霧化塗装システムは、エアーを使わず、塗料の微粒化と塗料粒子の車体への塗着に静電気のみだけを用います。これにより、塗着効率100%を実現することができ、ブース関連設備の簡略化・エネルギー削減に加え、環境負荷の低減が可能となりました。



各戦略における取り組み ～今期の実績③～

戦略	今期の実績
人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策	テレワーク制度の導入
	2021年4月より、従来のテレワーク勤務のルールを一部変更。アフターコロナにも対応した制度に拡充。
	「健康経営優良法人2021」(ホワイト500)に認定
	従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として、「健康経営優良法人2021 大規模法人部門(ホワイト500)」に認定された。



各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み①～

戦略	進行中の主な取り組み
付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・ 環境対応技術や自動化技術など	高塗着効率塗装システムの開発・商品化 CO ₂ 削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を推進中。
研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見える化による提案力の強化	技術開発センター（愛川）の実証センター化 環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設として再構築を検討中。
IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進	予兆保全と品質解析システムの開発・事業化 IoT・AI を活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を行うシステム「i-Navistar」の導入拡大に向け営業活動推進中。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み②～

戦略	進行中の主な取り組み
生産性向上	図面作画・積算業務の自動化システムの開発
	図面の自動作画や自動積算のシステムを開発中。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の 大型自動塗装事業など	経費精算システムの導入
	経費精算システムの導入を検討中。システム導入によりペーパーレス化および業務プロセスの効率化を実現。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の 大型自動塗装事業など	航空機・鉄道車両、一般産業向け自動研磨装置及び100%塗着効率塗装ガンの開発・事業化
	導入拡大に向け営業活動推進中。
未進出国への 事業エリア拡大	未進出国への拠点設立の検討
	今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み③～

戦略	進行中の主な取り組み
人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策	同一労働同一賃金を求める法改正への対応 改正法の主旨に基づき、非正規社員と正規社員間の処遇差異の見直しを実施。詳細内容はすでに決定しており、近く改定予定。
多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強	多様な人材の採用と活用 女性活躍を推進すべく、ライフイベントに応じた柔軟な休暇・休職の取得や復職後の職務訓練指導を実施。また、政府が推進する70歳雇用への対応について検討中。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み④～

戦略	進行中の主な取り組み
コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など	資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化 企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。
国内外における内部統制体制の強化	内部統制体制の強化 グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。
グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど	グローバルな情報セキュリティ対策の強化 海外子会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。



3. 株主還元



株主還元

自己株式の取得・消却

取得実績

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2005年12月	40	1,933	77
2006年 2月	597	1,780	1,062
2006年7,8月	500	1,401	700
2011年 8月	300	1,576	472
2012年11月	600	1,614	968
2013年12月	800	2,170	1,736
2015年 5月	680	3,245	2,206
2016年11月	356	2,805	999
2017年11,12月	136	3,654	499

消却実績

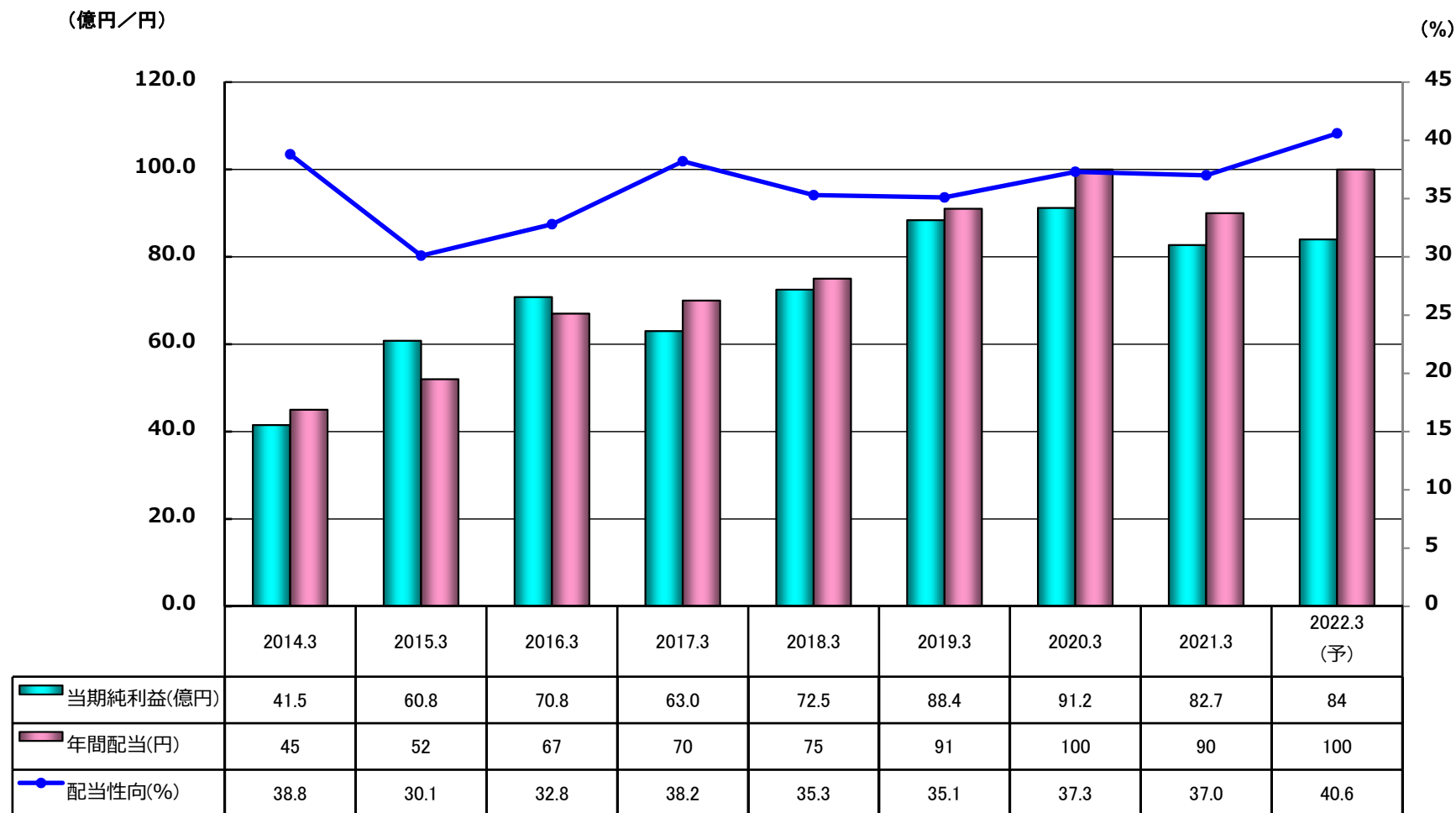
実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2008年 8月	1,200	1,593	1,912
2018年 2月	1,700	2,443	4,154

処分実績 (ESOPにて)

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2013年 2月	180	1,860	334

株主還元

当期純利益と配当の推移



連結配当性向40%を目標とし、安定的な配当を実施していくことを基本方針とする。



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 経営企画本部 経営企画部 広報課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195